

らの比率を占めるのか。本章ではこの問いに絞って分析を行う。

この問いだけに一章をまるまる費やすのは、この問いがきわめて重要だからである。もしネット上の2割とか3割といったかなりの人が炎上に参加した経験があるならば、炎上は人間というものにある程度普遍的についてまわる性質である。ゆえに、社会は炎上を抑制しながらもある程度は受け入れ、これとつきあっていくほかはない。しかし、炎上参加者が数%以下といったようにごく一部であるなら、炎上の抑止対策をとることに意味が出てくる。多くの人が行うことと、ごく一握りの人だけが行うことでは、原因も異なれば対策も異なってしまうべきである。炎上問題を考えるとき、炎上を起こす人つまり炎上に参加して書き込みを行う人がどれくらいいるかを知ることが、議論の重要な前提条件である。

炎上に参加する人がどれくらいいるかの研究はほとんど見当たらない。これまでの炎上研究は、事例分析と炎上対策マニュアルであり、炎上参加者がどれくらいいるかの研究はないようである。本章では2つの方法で参加者数を推定する。まず、5-2では前章でも使ったアンケート調査のデータを使って炎上参加者を推定する。すでに前章で1.5%という数字が得られているが、正確を期すために丁寧に精査して補正を行う。つづく5-3では、Twitterでの個別の炎上事例からの推測を行う。最近の炎上はツイッターが主舞台であり、Twitterでは書き込み数を追跡できる利点があるからである。この2つの方法から得られる推定値はほぼ一致する。最初に結論を述べておくと、炎上に参加する人はインターネットユーザの0.5%程度である。さらに、攻撃相手の目に見えるところに書き込んで直接攻撃する人となると0.00X%のオーダーのごく少数となる。すなわち、炎上は例外的な人々が起こす現象である。最後の5-4では、この例外的な少数の人々がどんな人かを実例をひろって検討する。

5-2 アンケート調査での炎上参加者数推定

まず、インターネットモニターを対象としたアンケート調査から推定を行う。調査概要は第3, 4章でも述べたが、繰り返しをおそれずここでも簡単に要約

すると、以下のとおりである

調査時点 2014年11月
調査対象者 調査会社(マイボイス社)のインターネットモニター 19,992人
全登録モニターからのランダム抽出

抽出のもとになるインターネットモニターにバイアスががかかっていないかが気になるところであるが、それは後で検討する。設問は次のとおりである。

設問

ネット上ではさまざまな炎上事件というのがあります。炎上事件とは、ある人の書き込みをきっかけに多数の人が集まってその人への批判・攻撃が行われる現象です。

Q 炎上事件についてあてはまるものを1つ選んでください。

- 1 炎上事件を聞いたことがない
- 2 ニュースなどで聞いたが、実際の書き込みを見たことはない。
- 3 実際の書き込みを1度だけ見たことがある(まとめサイト含む)
- 4 実際の書き込みを何度か見たことがある(まとめサイト含む)
- 5 1度書き込んだことがある。
- 6 1度以上書き込んだことがある

設問で炎上の定義としては「ある人の書き込みをきっかけに多数の人が集まってその人への批判・攻撃が行われる現象」としている。批判・攻撃としてあることから、単なる野次馬や応援・支持が殺到する現象は除かれている。

設問の答えの中で5と6を選んだ人が過去になんらかの書き込みを行った人で、いわば炎上を起こす側に回ったことがある人、すなわち「炎上参加者」である。3と4を選んだ人は炎上を見ていた人で、「炎上観察者」であり、1と2は実際の炎上を見たことがない人で、炎上に興味がない「炎上無関心者」となる。炎上参加者がどれくらいいるかは、5と6を選んだ人がどれくらいいるか

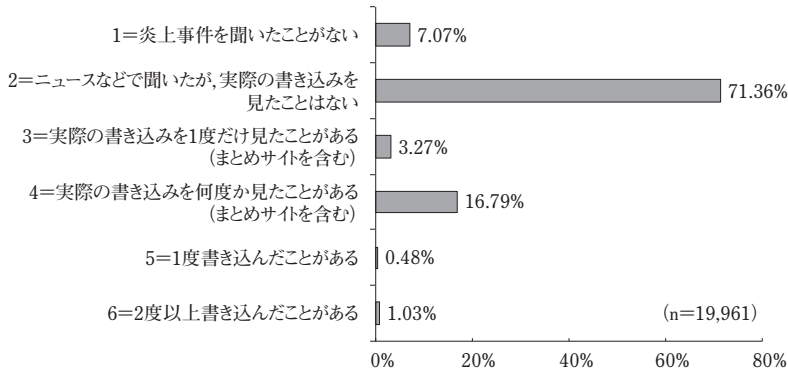


図 5.1 炎上参加者の比率 (補正前)

で見ることができる。

図 5.1 がその結果である (この図は第 4 章の図 4.1 の円グラフと同じである²⁾)。炎上事件を聞いたことがないと言う人は 7% でさすがに少ない。すでに炎上はインターネットユーザの常識になっている。2 のニュースで見たが実際の書き込みを見たことがないと言う人が 72% おり、圧倒的多数派である。多くの人にとって炎上事件とはニュースで知る事件である。両者をあわせた炎上無関心者は 8 割にも達しており、大半のユーザにとって炎上は嫌う対象ではあっても、積極的に見に行くような対象ではないことがわかる。炎上の書き込みを見たことがある炎上観察者は 3 と 4 をあわせて 20% 程度いる。そして炎上で書き込みを行う炎上参加者は $0.48 + 1.03 =$ 約 1.5% となる。

1.5% というのはきわめて低い値である。炎上が起こるとネット中の人すべてが攻撃しているように見えるが、実際に書き込んでいる人はごく一部である。なお、サンプル数が多いので精度は高く、推定値 1.5% の標準誤差は 0.086% となり、95% 信頼区間は 1.37% ~ 1.65% となる。サンプル数を少々変化させても推定値の大勢は動かない。

この値が妥当かどうか、バイアスがかかってないかどうかを考察する。まず、回答者が正しく答えないバイアスはあるだろうか。回答者が炎上に参加したこ

2) ただし、次の図 5.2 でウエイト付けするためにウエイトがないわずかのデータを除いたので、図 4.1 とは少しだけ値が異なっている (サンプルサイズが $n=19,992$ から $n=19,961$ に減少)。